

平成28年度 左京保健センター運営協議会 摘録

日 時 平成28年度12月14日(水) 午後2時～3時30分
場 所 左京区総合庁舎 3階 中会議室
出席者 出木谷委員, 藤井委員, 小林委員, 桜井委員, 竹下委員, 生谷委員
澤田委員, 山崎委員, 島委員, 安念委員, 金子委員(代理) 小室委員(代理)
顧委員, 辻川委員
＜事務局＞ 谷口保健所長, 有本センター長, 井上健康づくり推進課長
栗津担当課長, 中西衛生課長, 山本企画係長(保健医療課)
田中管理係長

1 挨拶

谷口保健所長

有本保健センター長

2 委員紹介

3 役員選出

部会長に出木谷委員を, 副部会長に山崎委員を選出した。

4 議題

左京保健センターにおける事業について

平成28年度事業報告

①健康づくり推進課の業務について説明(栗津担当課長)

②衛生課の業務について説明(中西衛生課長)

5 古くて新しい感染症「結核」について(有本センター長)

6 子ども若者はぐくみ局の創設について(井上健康づくり推進課長)

質問・意見

委 員: 健康づくり推進課の説明の中に不妊治療の助成件数がふえているという話があったが, 性感染症のクラミジアの感染者数が増えており, この疾患は不妊の原因になるので, その因果関係の話が無かったのは残念である。

事務局: クラミジアは治療がしっかり行われなければ, 不妊の原因になることは明確である。ただ不妊治療の助成件数の増加とこの性感染症増加の関係は保健センターの申請時では明確でない。不妊の原因は様々である。

ただ, 性感染症の普及啓発は大切であり, 最近の動向で言えば, 若い女性の梅毒が増加しているので, 予防と早期治療の普及啓発に努めている。

保健センターで実施している HIV の検査時にクラミジアなどの性感染症の

検査を同時に受験する方がほとんどであり、その際に予防や早期治療の普及啓発を行っている。

委員： 今までは縦割りにより支障が生じることがあった。家族で複数の障害がある場合に、福祉事務所と保健センターの窓口に行かないといけない場合があったが、統合されることにより相談窓口が1か所になる。

組織変更により窓口が切りかわる時期に、区民がどこに行けばよいのかわからない、という事ができるだけないようにしてもらいたい。

また、視覚障害者向けのリーフレットは、単一のものでなく、複数用意してもらいたい。人によって理解する内容に違いがある。

事務局： 窓口については、子供の窓口と高齢者の窓口になるので、職員の専門性を高めていき、各分野で横の繋がりをしっかりとし、複合的な支援をしていく。

団体と連携を図りながら地域に出向いて活動を進めていく。

7 閉会